

けんころ

地方独立行政法人
岐阜県総合医療センター
Gifu Prefectural General Medical Center

- 平成28年9月発行
- 平成28年 秋号
- 発行責任者 滝谷博志
- 編集 総合医療センター広報委員会

ご挨拶

岐阜県総合医療センター

副院長兼医療安全部長兼
総合外来センター部長兼
総合研修センター部長

直原 修一



岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者様本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

岐阜県総合医療センターの基本方針

- 1) 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
- 2) 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
- 3) 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
- 4) 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
- 5) 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
- 6) 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

すでにご承知のように、新しい診療棟「すこやか棟」が本年3月から稼働しております。1階にはCT、MRIの検査装置が新たに増設され、さらに各種の専門外来が本館外来から移動、2階には小児科系の外来が本館2階から移動、5階には外来化学療法センターと改称された本館1階の外来化学療法室がそれぞれ移動しました。3階・4階は重症心身障がい児の入所施設「すこやか」、6階は会議室などの管理部門となっております。2階の小児科系の外来、5階の外来化学療法センターともこれまでに比べスペースが拡大しておりますので、快適な環境で診療が行えるようになりました。

皆様の安心・安全な外来受診（医療者の立場では「医療安全」と表現します）に少なからず寄与するものと考えております。

しかしながら、各種の検査部門の混雑は相変わらずで、長時間お待たせするなど皆様にはまだまだご迷惑をおかけしているのも実状です。このことは、当センターの重点課題のひとつと認識しており、改善に向け種々の取り組みを行っています。

また、外来には総合相談センターが設置されておりますので、何かお困りのことがございましたら気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。そのほか、外来、病棟には提案箱「患者さんの声」を設置しておりますので、普段気になること、改善してほしいことなどがございましたら、ご意見の「声」をお寄せいただきたいと思います。もし、何か良かったと感じになったことがございましたら、おほめの「声」もいただくと幸いです。「患者さんの声」もどうかお気軽にご利用いただいて、受診される方も職員と共に岐阜県総合医療センターをより良くするようなお知恵を拝借できればと思っております。職員一同、日々努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

内視鏡治療部の紹介



内視鏡治療部長

山崎 健路
(やまさき けんじ)

われわれ消化器内科・内視鏡治療部は消化管(食道・胃・大腸)の早期がんの治療を主に担当しています。内視鏡(胃カメラ、大腸カメラ)によってがんが早期に発見されれば、外科的な手術に比べて体の負担が少ない内視鏡による治療が可能となります。

当センターでは最新の内視鏡器機である拡大内視鏡を用いて、正確な内視鏡診断および安全な内視鏡治療を常に心がけています。

2015年の1年間で、上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を約4,500件、下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)を約3,000件施行しました。またカメラを用いた、がんに対する内視鏡治療(内視鏡的粘膜下層剥離術)も積極的に行っています。2015年の1年間で、食道がん・胃がん・大腸がんの患者さんに対し合わせて120件程の内視鏡治療を行いました。

日本人には元来胃がんが多く、今後は大腸がんも増加していくことが予想されます。

最近では内視鏡検査が可能なかかりつけ医も増えています。胃がん検診・大腸がん検診をはじめとする定期的な検査を受けることが、がんの早期発見、早期治療につながります。



「岐阜県総合医療センター健康祭2016」のご案内

岐阜県総合医療センターでは、一般の方を対象に健康祭を毎年開催しています。今年は、『運動と健康』をテーマに企画しました。皆様方のお体と運動の関係をご紹介し、身体機能チェックを通してご自身のお体を見つめなおしていただけるよう準備しております。たくさんのご来場をお待ち申し上げます。

理事長兼院長 滝谷 博志
副院長 小田 寛
総合リハビリテーションセンター部長 谷島進太郎

平成28年11月12日(土)11:00~15:30 本館1階、情報交流棟3階 参加無料

- 【特別講演】** 岐阜県健康福祉部飛騨保健所長 久保田芳則 先生
演題：健康と運動について
- 【ミニレクチャー】** お体と健康の関係を紹介します。
感染症にかからないからだづくり
CKD(慢性腎不全)と運動療法
高血圧と運動
皮膚にとって運動はいいこと?避けること?
慢性呼吸不全と運動療法
ロコモ体操のススメ(笑顔で長生き)
- 【ポスター発表】** 健康について、情報提供します。
- 【測定・体験コーナー】** 身体計測で健康チェック!
介護指導、歯周病チェック、骨密度、血管年齢、体脂肪・筋肉量
- 【体験コーナー】** ヨーガ体験で心身リフレッシュ!
- 【相談コーナー】** おくすり相談、栄養・食事相談、母乳育児相談
- 【エントランスで音楽会!】** アンサンブルや和太鼓を披露します。

健康祭
いつまでも健康で動ける体のために!
11月12日(土)11:00~15:30
知って元気になろう!講演会:健康と運動
11:00-11:30 特別講演 久保田芳則 先生
11:30-12:00 講演 滝谷博志 院長
12:00-12:30 講演 小田寛 副院長
12:30-13:00 講演 谷島進太郎 部長
13:00-13:30 講演 山崎健路 部長
13:30-14:00 講演 山崎健路 部長
14:00-14:30 講演 山崎健路 部長
14:30-15:00 講演 山崎健路 部長
15:00-15:30 講演 山崎健路 部長

測って元気になろう!体験コーナー
11:00-15:30
測定コーナー 骨密度測定、体脂肪測定、筋肉量測定
体験コーナー ヨーガ体験、呼吸器リハビリテーション
相談コーナー 栄養相談、食事相談、母乳育児相談

聴いて元気になろう!音楽会
本館1階エントランス
11:00-15:30
アンサンブル、和太鼓

岐阜県総合医療センターは岐阜県の基幹災害拠点病院に指定されており、県内全域の災害医療に対して中心的役割を担い、また他の地域において災害が発生した際に迅速に災害支援チームを派遣する責務があります。

熊本地震(2016年4月14日前震、16日本震)は2度の震度7という過去にない大災害であり、甚大な被害が発生し、19日熊本県知事より全国知事会へ「全国都道府県における災害時等の広域応援に関する協定」に基づき派遣要請がありました。当院は岐阜県の派遣要請にて翌20日医療救護班5名一東日本大震災医療救護班経験者(医師、薬剤師)、DMAT(看護師2名、事務員)一を派遣しました。

我々の任務は熊本県菊池保健所管内の避難所の医療ニーズ調査・巡回診療、医療救護所設営・夜勤でした。当初より懸念されていた車中泊の避難者が非常に多く、エコノミークラス症候群予防のため、弾性ストッキング配布や水分補給・運動指導をしました。また混沌とした避難所集団生活により発症し易いインフルエンザやノロウイルス感染症の診療や予防に努めました。その他、今後の先行きや健康不安に耳を傾け、心理面のケアサポートにも努めました。今回の経験を生かし、岐阜県の災害医療支援にフィードバック出来ればと思いました。

■ 医療救護班とは

災害時において被災者に対する一刻も早い応援救護が必要とさせる場合に、日本赤十字社は救護班を派遣し救護活動を行う。これは迅速な応急的災害医療により、一人でも多くの人命を救助するとともに被災地の医療機関の機能が回復するまでの空白を埋める役割を果たすものである。また避難所等への巡回診療を行うこともある。



絵画を寄附していただきました

平成28年8月に絵画をいただきました。

来院の皆様にご覧頂けるように、本館棟2階アトリウム廊下の展示スペースに飾りました。ありがとうございました。

以前に寄附を受けて保有している同じ作者様の作品を合わせて展示しています。



看護部からの お知らせ

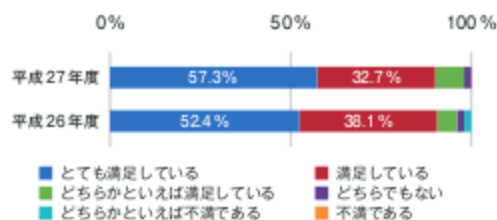
看護職が活き活きと働け、患者さんへの最高のサービスが提供できることを目的に、平成25年からパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）を導入しています。これは、看護師2名がパートナーとなり、対等な立場でお互いの特性を活かし協力しながら看護を提供する体制です。

あなたに安心をとどけます！



Q 看護師からの援助や対応にどれくらい満足していますか？

入院患者さんに行ったアンケート調査では、平成26年度より平成27年度の満足度が上がっていることが確認できました。これからも、患者の皆さんに満足していただける看護の提供のため取り組んでいきたいと思ひます。



Q PNSってそんなにいいことですか？

これまでは観察と記録を1人で実施していたため患者さんとの会話を中断してしまうことがありました。しかし、現在はPNSにより、2人で受け持たせていただいているため患者さんからのケアの要望に応えることや、相談事など、中断することなく会話の内容を深めることができるようになりました。新人看護師は1日中ペアで動くことにより、先輩看護師の知識・技術を目の前で見ることができ、すぐに相談・質問ができ働きやすい環境になりました。患者さんからも看護師の経験値に関わらず均一な看護に繋がっているために安心していただけています。



こんにちは 栄養管理部です

第30回

シリーズ第2回 からい？塩からい？

人間の舌が感じることのできる味は甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の5種類と言われています。これは舌にある味覚細胞が判別できるものであり、それ以外にも「辛味」「風味（におい）」など様々な要素によって私たちは総合的に味＝おいしさを感じています。（においが味に影響する、というのは風邪を引いて鼻が詰まったときなどを思い浮かべるとお分かりいただけるかと思ひます。）



+

- ・辛味
- ・風味（におい）
- ・温度
- ・見た目
- ・舌触り

…など

前回の「うま味」に続き、今回は「辛味」について紹介します。「塩からい」と「からい」、同じ「からい」という言葉ですが「塩からい」は先ほど記述した通り舌で感じる味で、控えることが望ましい塩の味です。

一方で唐辛子やわさびなどの「からい」は味ではなく痛みに近い刺激と言われています。辛味のある食材を上手に使うことで塩味が薄くても満足感を得る助けとなるため、いろいろ試してみましよう。また、適度な辛味は食欲増進効果や消化機能を助ける働きもあります。

もちろん口の中や胃腸への刺激が強いものなので、過剰摂取には注意ましよう。



一味唐辛子

ご存知ストレートな辛味の代表です。
例→味噌汁、煮物などに



わさび

辛味成分が揮発性のため、においとなって鼻で「ツン」とした辛さを感じます。
例→刺身、寿司などに



カレー粉

様々な香辛料がブレンドされているため、単純な辛味だけではありません。
例→ソテー料理などに



大根おろし

大根おろしには辛味が強い先端が適するでしょう。目の粗い卸し金を使ったほうが辛くなります。
例→焼き魚の添えなどに

編集後記

広報紙「けんこう」第33号をお届けします。

今回は医療看護班の活動や健康祭のご案内など、最新の話題をお届けしました。

また、取り上げてほしい情報などありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号

TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805

Eメールアドレス info@gifu-hp.jp

ホームページアドレス http://www.gifu-hp.jp